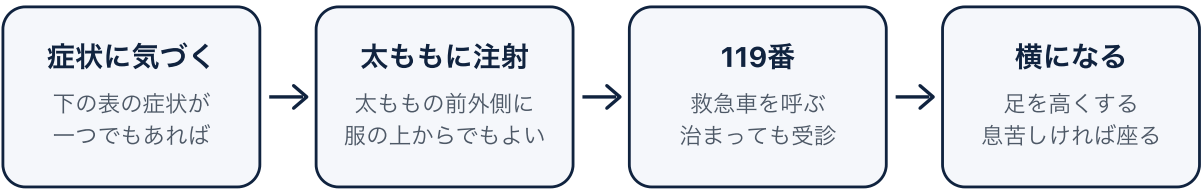


アナフィラキシーと、アドレナリン自己注射薬

急に全身に出る強いアレルギー反応で、命にかかわることがあります。自己注射薬は病院に着くまでの手当てです。ためらわずに使い、必ず救急車を呼んでください。



自己注射薬を使う目安

次の症状が一つでもあれば使います（学会の目安。皮膚の症状がないこともあります）。注射・119番・横になるは同時に進めます。

おなか	呼吸	全身
くり返し吐き続ける	のどや胸が締めつけられる、声がかすれる	唇や爪が青白い、脈が触れにくい・不規則
がまんできない強い腹痛が続く	犬が吠えるようなせき、強いせきが続く	意識がもうろうとしている、ぐったりしている
	ゼーゼーする、息がしにくい	尿や便をもらす

使ったあとの注意

- ・ 症状がおさまっても必ず受診します（数時間後に再び出ることがあります）
- ・ 急に立ち上がったり座ったりしません。急に悪くなることがあります
- ・ 使った注射器は受診先に渡します。手や指に誤って刺したときも、すぐ受診します

ふだんの備え

- ・ いつも持ち歩き、使用期限を確かめます。15～30℃で保管し、暑い所に置きっぱなしにしません
- ・ 練習用の器具で使い方に慣れておき、ご家族や学校・職場の人にも伝えておきます

こんなときは相談してください

- ・ 心臓の病気、高血圧、甲状腺の病気、糖尿病がある方、妊娠中・授乳中の方は、担当医にお伝えください
- ・ 注射薬を使ったときは、処方した担当医にも報告してください